



# ふじさんネットワーク

FUJISAN  
NETWORK

URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

VOL.43



西白塚より

## 富士山憲章(行動規範)

1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
1. 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

## 目次

Contents

1. 活動体験
2. 自然観察会
3. 富士山エコレンジャー
4. 世界遺産 富士山
5. 会員活動紹介

## 1 活動体験

富士山の環境保全活動に対する理解と実践を促すため2種類の活動体験を実施したので、その様子を紹介します。

### 富士山のシカ食害と対策を学ぶ体験(テープ巻き)

日時：9月7日(土)午前10時30分から午後2時まで

場所：富士山ふれあいの森林(もり)(富士宮市・西臼塚)

参加者：39名

指導：林野庁 関東森林管理局 静岡森林管理署

内容：富士山の森林内では、シカが木の樹皮を食べてしまうことで、貴重な木が枯れてしまうという被害が深刻になっています。そこで、シカから樹木を守るために行われている「テープ巻き」の体験を行いました。

また、NPO法人富士山自然の森づくりの御協力により、森づくりの現場も見学しました。



シカに樹皮を食べられた例です。大きい木でも枯れてしまう場合があります。



2人1組になって、緑化テープ(麻テープ)をウラジロモミの木に巻きました。テープは数年後には腐食して自然に帰ります。



静岡森林管理署 後藤森林整備官(右端)より、富士山のシカ被害の現状、シカ対策などについて、お話をいただきました。



NPO法人富士山自然の森づくり 仁藤会長(中央)より、森づくりの重要性などについてお話をいただきました。

## 富士山の草原性植生保全活動体験(草刈)

日 時：9月28日(土)午前10時から午後2時30分まで

場 所：朝霧高原根原県有地(富士宮市)

参加者：50名

指 導：NPO法人富士山自然の森づくり

内 容：人との関わりが減少したことなどにより、草原の形態が失われつつある朝霧高原根原県有地において、草原性植生の保全のため、静岡県及び富士宮市と共催で草刈の活動体験を行いました。

また、富士宮自然観察の会の御協力により、植物の観察会も行いました。



6班に分かれて、作業を行いました。最初に指導員の方から、作業方法やカマの扱い方について説明がありました。



2メートルほど伸びたススキを根元から刈りました。天候に恵まれ、後方には富士山が見えました。



富士宮自然観察の会の佐野さん(右端)より、現場周辺に見られる植物について解説していただきました。



予定の1haを上回る1.5ha程度の草刈をすることができました。皆さん、お疲れ様でした。

テープ巻き体験の参加者からは、「今後もシカ被害を減らすために、テープ巻きで木を守っていきたい」「一見、何の手も加えられていないように見える森も、地元の方の苦勞により作られていることがわかった。」という声が、草刈体験の参加者からは、「富士山の草原特有の貴重な植生を守っていきたい」「ワレモコウやヒヨドリバナなど聞きなれない植物を観察することができて良かった」などの声が聞かれました。参加者及び関係者の皆様、ありがとうございました。

## 2 自然観察会

富士山の恵みに触れ、親しむことで、富士山の素晴らしい自然環境を守っていく意識を高めていただこうと2コースの自然観察会を実施したので、その様子を紹介します。

### ①「富士山の恵み 柿田川」 親子で水に親しむ自然観察会

日時：8月17日(土)午前9時30分から正午まで

場所：柿田川(駿東郡清水町)

参加者：30家族94名

案内：(公財)柿田川みどりのトラスト、柿田川自然保護の会

内容：富士山の恵みである柿田川の浅瀬に入って、アユ、ニジマス、スミウキゴリ、サワガニ、モクスガニなどを捕まえたほか、ミシマバイカモやヒンジモなどの貴重な植物を観察しました。

その後の観察会では、捕まえた生き物を観察しながら、自然を守っていくことの大切さを学びました。最後に、捕まえた生き物は川に返しました。



(公財)柿田川みどりのトラスト 漆畑会長(中央)より、富士山と柿田川との関係や、川に入る前の注意事項について、お話がありました。



親子で仲良く、川の中の生き物を探しています。



案内人の方が、ニジマスを捕まえてきてくれました。



観察会では、参加者の皆さんが熱心に説明に耳を傾けていました。

## ②富士山富士宮口五合目～宝永火口縁～六合目

日 時：9月21日(土)午前8時30分から午後2時30分まで

場 所：富士山富士宮口五合目→宝永第二火口縁→宝永第一火口縁→六合目→五合目

参加者：30名

案 内：富士自然観察の会

内 容：五合目から宝永第二火口縁にかけての森林内では、ダケカンバやミヤマオトコヨモギ、コケモモなどの植物を観察しました。

宝永火口縁では、案内人の方から、富士山の成り立ちや富士山で見られる石などについて、説明がありました。



富士自然観察の会 山田会長(左)より、富士山の植物について、詳しい解説がありました。



宝永火口縁では、富士山の地質について、イラストを用いたわかりやすい説明がありました。



フジアザミが、宝永第一火口付近に、きれいに咲いていました。



約3kmと少し長い行程でしたが、皆さん無事、五合目に戻ることができました。お疲れ様でした。

参加者の皆様からのアンケートでは、2コースとも全員から「大変よかった」「よかった」という回答をいただきました。参加者及び関係者の皆様、ありがとうございました。

(10月20日(日)に開催予定でした「富士山高鉢山～ガラン沢～旧料金所ゲート」のコースは、荒天のため中止になりました。)

## 3 富士山エコレンジャー

### 静岡県主催の環境保全活動に協力しました

10月5日(土)に行われた富士山クリーンアップ登山大作戦Ⅱ(静岡県主催)で富士山エコレンジャー5名が案内役として活動しました。当日はあいにくの雨天となり、急遽雨天コースでの開催となりましたが、富士山御殿場口五合目での自然やマナーに関する解説、富士浅間神社における貴重な資料の見学、また富士山樹空の森においては現地の溶岩樹形の見学や解説などを行いました。参加者もエコレンジャーの解説に積極的に耳を傾け、富士山について学んでいました。

#### 富士山クリーンアップ登山大作戦Ⅱ ～歩いて 学んで 磨き上げ～

富士山のクリーンアップを目指すマナー啓発の一環として開催されたもので、一般県民の参加者のほか、母国での富士山情報の提供が期待される留学生の皆さんなど計32名が参加しました。

案内役：秋山弘司さん・中島利男さん・萩野克己さん・関直人さん・小澤英雄さん



御殿場口五合目における自然解説



樹空の森の溶岩樹形解説

### 富士山エコレンジャー連絡会からのお知らせ

#### ◎「富士山エコレンジャー講習会」について

来訪者へのマナー啓発や環境保全活動などを通じて、富士山の自然を守り・伝えていくボランティア「富士山エコレンジャー」の平成26年度新規登録者の募集を、8月～9月にかけて、ふじさんネットワーク内の自然保護団体等に行ったところ、応募者はありませんでした。

よって、今年度「富士山エコレンジャー講習会」は開催しませんので、御承知ください。

#### ◎「富士山エコレンジャー募集」について

本年度の募集は終了いたしました。募集期間に限らず興味のある方は事務局までお問合せください。(次年度予定のお知らせや情報の提供等対応をいたします)

## 4 世界遺産 富士山 静岡県からのお知らせ

### 「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」世界遺産登録後の課題と取組

本年6月に、カンボジアで開催された第37回ユネスコ世界遺産委員会において、富士山の世界遺産登録について審議が行われ、資産名称を「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」とし、ユネスコの世界遺産一覧表に記載されました。それと同時に、第40回世界遺産委員会において審査できるよう、2016年2月1日までに、ユネスコ世界遺産センターへ保全状況報告書を提出することが我が国へ要請されました。

提出する保全状況報告書には、資産の全体構想、来訪者管理戦略、登山道の保全手法、情報提供戦略、危機管理戦略に関する進展状況を提示するとともに、包括的保存管理計画の改定を含めるよう要請されています。今後は、国、静岡・山梨両県、市町村などから成る「富士山世界文化遺産協議会」を中心に、来訪者管理戦略や情報提供戦略などを策定し、保全状況報告書を最善のものとしてまいります。



構成資産「三保松原」から見る富士山

登録後、静岡・山梨両県では保存管理に関わる具体的な取組を進めています。

来年度の夏山シーズンにおける富士山利用者負担制度の本格導入に向けて、必要なデータを収集するとともに、導入のための解決すべき課題を整理するため、7月25日から8月3日の9時から18時の間、静岡・山梨両県において富士山の環境保全や登山者の安全対策を目的とした「富士山保全協力金」を募る社会実験を各登山口で実施しました。

「富士山保全協力金」の金額を、基本1,000円とし、御協力いただいた方には、缶バッジ、記念ガイドブック(静岡県側登山口のみ)をお渡ししました。その結果、静岡・山梨両県で当初の予想を超える

延べ34,327人の方々から約3,413万円の協力金をいただくことができました。

また、下山者の方を対象に富士山の利用者負担制度導入に関するアンケートも実施し、貴重な御意見をいただくことができました。今後は、今回の社会実験の結果や有識者、地元の方々の意見等を踏まえた上で、来年度以降の実施方法について、富士山世界文化遺産協議会で決定していく予定です。

「世界遺産登録はゴールではなく、スタート」と言われるとおり、国の機関、山梨県、関係市町村と緊密な連携を図りながら、世界の宝となった「富士山」を良質な状態で引き継げるよう、将来にわたり必要な取組を推進してまいります。そのためには多くの皆様の御理解と御協力が必要でありますので、引き続き格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



〈富士山保全協力金の社会実験〉

## 5 会員活動紹介

### 富士地区地学会

事務局住所 富士市本市場253-3

TEL・FAX 0545-61-6814

本会は、平成11年に発足しました。主に、富士山の富士地域の自然の調査研究や、観察会、勉強会を行っています。また、本会の趣旨に賛同された会員相互の親睦及び他の団体との交流を図っています。

この1年間に行った主な行事を紹介します。

**2013年 2月4日～5日**

### 富士山展示会（富士市大淵まちづくりセンター）

富士山の成り立ち、富士山の噴火の歴史、宝永山、地震と火山噴火、富士山の動植物などについて、展示を行いました。

**2013年 4月14日**

### 富士山南麓溶岩洞穴・十里木氷穴巡り

丸火自然公園では肋骨溶岩洞穴を、十里木では氷穴内で1メートル以上もある氷筍を観察しました。



十里木氷穴

**2013年 9月29日・10月3日**

### 北斎・広重に描かれた富士山の浮世絵現地巡り

沼津市原一宝永山の噴火、駿州大野新田、駿河富士沼、吉原・左富士、富士川渡船、蒲原一夜之雪、広重美術館、由比一薩埵峠、三保の松原を巡りました。



浮世絵現地巡り(薩埵峠)での集合写真

～富士山が世界文化遺産に登録されました。

訪れた人に富士山の魅力を語りかけましょう～



2013年12月 vol.43

編集・発行／**ふじさんネットワーク事務局**

静岡県くらし・環境部環境局自然保護課内

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 電話054-221-2963 ファックス054-221-3278

E-mail 3776fuji@pref.shizuoka.jp URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

### ふじさんネットワーク

- 設立 平成11年10月23日
- 会長 土隆一  
(静岡大学名誉教授)
- 会員数 489団体・個人  
(H25.11.30現在)